

□岩見沢市新病院建設工事 近隣住民説明会 概要

■日 時

2025 年 10 月 16 日（木）17 時 30 分～18 時 00 分

■場 所

独立行政法人 労働者健康安全機構 北海道中央労災病院 2 階講堂

■出席者

岩見沢市立総合病院、北海道中央労災病院、大成建設 各担当者

■参加者 15 名

■議事録

※岩見沢市立総合病院担当者は（市立）、北海道中央労災病院担当者は（労災）、大成建設担当者は（大成）とそれぞれ記載

（大成） 説明資料の内容に沿って説明

～質疑応答～

（住民 1） 今後、着工から竣工までに同様な説明会の開催予定はあるか。

（市立） 工程および安全管理等も含め問題なく予定通りに工事が進んだ場合、今後の説明会の開催は予定していないが、地域の皆様へ説明が必要な事象が発生した場合には、開催が必要と考えている。

（住民 2） 建設工事本体の説明であったが、労災病院解体を含めた事業全体のスケジュールや形態を教えてほしい。また、そういった情報の発信はあるのか。

（市立） 本日は、近隣住民の皆様を対象とした説明会であったため、本体工事の安全性やスケジュールを中心に説明した。事業の概要としては、まず今年度限りで労災病院が閉院となり、4 月からは市立総合病院にて労災病院の大部分の医療機能を踏襲した形で、統合病院としてスタートする。そのため統合病院の情報発信を優先することになるが、新病院の概要や工事の進捗状況などの情報については、適宜、市のHPや広報等を通じて発信していきたいと考えている。

（住民 3） 市道側の出入り口を使用するのは、どのようなときか。

（大成） 工事の車両は基本的に国道側を使用予定である。ただ、現在行っている先行工事の状況により 11 月 2 週目ごろまでは市道を使わざるを得ない可能性がある。また、2028 年頃に予定している外構工事の施工時においても国道側が使用できないため、市道側の出入り口を使用することとなる。

（住民 3） 普段は出入り口を閉鎖するのか。

（大成） ゲートは付いているが、殆ど使用しない予定である。

- (住民４) 労災病院の解体は新病院建設と同時期に行われるのか。
- (労災) 労災病院の解体について、施工業者および具体的なスケジュールは未定であるが、令和８年６月頃の着手を予定している。
- (住民４) 新病院の建設と労災病院の解体は別々のものであると認識してよいか。
- (労災) 労災病院は岩見沢市の所有ではないため、労災病院の責任のもと解体を行う予定である。
- (住民４) 工事業者が使用する車の駐車場などは、全て敷地内に収まる形であるか。
- (大成) 通常、工事の通勤車両は工事現場内を使用予定である。工事作業員が増えた場合には、労災病院の敷地を借りて場所を確保できるよう労災病院より了承を得ている。
- (住民４) 周辺の住宅街において、無断の路上駐車が発生する可能性は無いか。
- (大成) そのようなことが発生しないよう、当社からの指導を徹底する。また、その他の社会的マナー講習を含めた送り出し教育という講習を定期的に行っている。その教育を受けた作業員が入場予定であるので、そのような事はないと考えている。
- (住民５) 現在、土砂の運搬で市道側の出入り口を使用しているが、今後冬の期間も同様に使用予定であるか。積雪の際、大型トラックの通行による路面状況の悪化等を懸念している。
- (大成) 現在行っている先行工事においては、市道側の出入り口を使用せざるを得ない状況である。ただ、この状態は１０月末までの予定である。１１月からは最初の２週間を除き、全て国道側のゲートから出入りする予定であるため、今後冬期は市道側を使用しない予定である。

(以上)